

# エシカル消費の未来を地方から創造する

情報発信

イベント開催

学校教育における普及・啓発

徳島県・徳島県教育委員会

所在地：徳島県徳島市万代町1-1  
主な担当課：危機管理部消費者くらし安全局消費者くらし政策課※  
※平成29年度まで主担当であった新未来消費生活課は、平成30年度から消費者くらし政策課内に組織改編された。  
徳島県教育委員会学校教育課

## ○事業・活動の概要

徳島県では、徳島県消費者情報センターなどを管轄する消費者くらし政策課が中心となって、県民環境部、保健福祉部、農林水産部、教育委員会など複数の部局と連携して、県民や事業者等、様々な主体に対するエシカル消費の普及・啓発の取組を進めている。

## ○取組内容

平成29年度は、小学生とその保護者を対象に、徳島市内のショッピングモールで売場に設けられたエシカル消費に関連したクイズのチェックポイントを巡り、エシカル消費関連の認証ラベル(フェアトレード、海のエコラベル、オーガニックなど)の意味を学べる体験型イベント等を開催した。

また、消費者活動の指導者を養成するために開講される「徳島県消費者大学校大学院」においては、エシカル消費について学べるコースを開設したり、「とくしま『消費者教育人材バンク』」を立ち上げ、エシカル消費を始めとする消費生活に関係する分野の専門家と、講師を探している県民との橋渡しを行ったりするなど、県民の学びの機会の拡充にも努めている。

平成30年3月には、エシカル消費の推進に関する県の取組等を紹介する情報誌「エシカル通信」を創刊し、徳島県のウェブサイトで公開しているほか、事業者等にメール配信している。

エシカル消費の概念は多岐にわたるため、食品ロス削減を促進するための講演会や、持続可能性の高い生産方式で栽培された有機農産物や加工品等の見本市など、消費生活部門以外の関連部署のイベント会場等においても、「エシカル消費」について説明するパネル展示を行うなど、積極的にエシカル消費の普及・啓発に努めている。



## ○事業者・関係団体への普及

エシカル消費の推進においては、消費者の行動だけでなく、商品の選択の機会を提供する事業者の取組が不可欠である。

徳島県では、エシカル消費の趣旨に賛同する事業者等から「エシカル消費自主宣言」を募集しており、平成30年6月末現在で27の団体が宣言している。事業者等のエシカル消費推進への思いや取組内容を県のウェブサイトやイベントで情報発信することで、事業者等における意識の向上を図るとともに、商品やサービスを通じて、消費者と事業者の間のコミュニケーションを深める狙いがある。

また、平成29年7月に、消費者や事業者、教育機関など14の団体から構成される「とくしまエシカル消費推進会議」を立ち上げた。地域一体となってエシカル消費を推進していくための方策を検討する組織として、会員同士にとどまらず連携の輪を県内に広げていくことが期待されている。

その他、「事業者向けエシカル消費講演会」を開催し、75名の受講があったほか、他部局と連携し「新次元の消費者行政・体感ツアー」に参加した消費者関連部門を設けている首都圏の事業者に向けて、徳島県内でエシカル消費に取り組んでいる高校生や事業者の取組を紹介した。



## ○学校教育におけるエシカル消費の推進

徳島県では、学校教育におけるエシカル消費の普及・啓発にも取り組んでいる。公立の高等学校における代表的な事業としては、次の二つがある。

一つは、徳島県内の高等学校の牽引役として学校全体でエシカル消費の推進に取り組み、その成果を徳島県内外に発信する「『エシカル消費』リーディングスクール事業」で、平成29年度は2校が指定された。（「エシカル消費」リーディングスクールの活動については、個別の事例を参照。）

もう一つは、エシカル消費の推進の機運を高めるため、エシカル消費を研究・実践する組織「エシカルクラブ」を結成する、「高校における『エシカルクラブ』推進事業」である。平成29年度は12校に「エシカルクラブ」が設置され、平成31年度末までに徳島県内全ての公立高等学校に設置することを目指している。「エシカルクラブ」は、いわゆる部活動とは異なり、学校の実情に応じて、生徒会や家庭クラブ等の既存の活動に合わせて行うなど、活動の形態や内容、頻度等は学校の裁量に任されている。

平成29年度は、エシカル消費に関する講演会の開催、エシカル消費につながる行動例等を紹介したリーフレットの作成、不要になった衣類の回収・譲渡活動、フェアトレード等を例にエシカル消費について説明する絵本の製作、地元の食材を使った料理の研究など、各校で多彩な取組が行われた。

なお、どちらの事業も公募制で、指定を受けた学校は、事業によって金額は異なるが、一定額、活動費用の交付を受けることができる。



## ○今後の取組

徳島県消費者教育推進計画の平成30年度改定版において、七つの基本方針の一つに「人や環境、社会、SDGsを意識した消費行動の推進」を定め、今後も学校や家庭、地域におけるエシカル消費の推進に積極的に取り組んでいくこととしている。

平成30年7月には、エシカル消費の普及・啓発に取り組む先進的な地方公共団体が一堂に会し、事例報告や意見交換等を行う「エシカル消費自治体サミット」を開催予定である。また、エシカル消費の普及・啓発に向け、消費者啓発イベント等で使用するチラシの作成、啓発動画の作成等を検討している。その他、徳島県産食材やキッチンカーを活用して、地産地消や食品ロスの削減、エシカル消費関連の認証ラベルを学ぶイベントを県内外で開催予定である。

公表日：平成30年7月12日 取材：平成30年5月

外部リンク：

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kurashi/shohiseikatsu/5013650>

